

サッカーを通して地域の復興に尽力

第3回常磐大学&水戸ホーリーホックコラボデー開催

▼経営学科の学生が作成した風船で飾り付けたゲートの前で挨拶する森征一学長。



学 学校法人常磐大学は、連携協力協定を結ぶ水戸ホーリーホックが9月2日に行った対ガイナレ鳥取戦のホームゲームを「常磐大学&水戸ホーリーホックコラボデー」として開催した。このイベントは今回で3回目。学校法人常磐大学が設置する各学校の学生や生徒、園児らが、水戸ホーリーホックの試合運営やイベントに参加・協力し、その賑わいを地域活性化につなげることが目的だ。

当日はゲーム開始に先立ち、常磐大学・常磐短期大学の森征一学長が挨拶。水戸ホーリーホックとの連携などを通して、地域の復興に尽力していきたいと語った。昨年は東日本大震災の影響で立ち入り禁止となっていたメインスタンドも、今年は震災以前の姿に修復。吹奏楽の演奏やチアダンスパフォーマンスなどのピッチイベントも、メインスタンドから鑑賞していただくことができた。

試合結果は水戸ホーリーホックが2-0で勝利。訪れた観客たちにとって、最高の一日となった。

常磐大学

- 人間科学部健康栄養学科 Presents
 - ・健康栄養学科×しまだ コラボ商品
 - ・ネバっていこうぜ! 「ネバネバうどん」
 - ・「ころころコロッケ」
- 国際学部経営学科 Presents
 - ・風船で応援!? がんばっペホーリーホック
 - ・みんなで決めよう! ボール☆シュート☆ゴール
 - ・みんなでおそろい☆フェイスペイント
 - ・ブルートライアル/キックターゲット③/ 障害物
 - ・ホーリーホックブルーレポート

ピッチイベント

- エキシビジョンマッチ⑤
 - 常磐大学高校女子サッカー部
 - vs 栃木県立宇都宮中央女子高等学校サッカー部

運営コラボレーション

- 吹奏楽演奏
 - 常磐大学吹奏楽団&TOKIWA おんぶの会
- チアダンスパフォーマンス④
 - 常磐大学高校チアリーダー
- ボールパーソン
 - 常磐大学高校男子サッカー部
- フェアプレイフラッグベアラ②
 - 智学館中等教育学校
- エスコートキッズ①
 - 常磐大学幼稚園



ALL TOKIWA DAY 2012 セタフェスティバルを開催

● 学校法人常磐大学マスコットキャラクターが決定

学校法人常磐大学は7月7日（土）に「ALL TOKIWA DAY 2012 セタフェスティバル」を開催した。このイベントは在校生をはじめ、その保護者・卒業生・地域の方々との絆を深めることの重要性を再認識するため企画された、初めての試み。常磐に関わる全ての方々への感謝と復興への願いとともに、当日が七夕であることもあり、皆様の願いがかないますように、という願いがイベントのネーミングに込められている。

当日は雨がぱらつく天気だったが、たくさんの関係者が来場し、イベントは大盛況。地元B級グルメや那珂湊直送のマグロ丼、また森征一学長自らが盛りつけたミト（水戸）ソーススパゲッティなど、飲食関係の出店も好評で、

どの店の前も長蛇の列で賑わった。また、2010年J BANバルーンアート全国大会準優勝の実績を持つ常磐大学人間科学部卒業生の佐々木美季さんが、バルーンアートの実演を披露。子どもたちの人気を集めていた。

卒業生交流ブースには、関連する各学校歴代の制服や校舎の変遷、また教員や卒業生からのメッセージなどが展示され、100年以上にわたる学校法人常磐大学の歴史の重さを物語っていた。地域との交流を深めるフリーマーケットも盛況で、売上金は茨城県の復興事業に全額寄付された。体育館では常磐大学高等学校のスポーツへの取り組みを披露。県総体で好成績を収めた体操部による演技や神奈川県の高豪アレイシア湘南高等学校との男子バスケットボール親善試合が行われた。

屋内ステージでは常磐大学幼稚園園児の発表や智学館中等教育学校生徒によるハンドベル・マリンバの演奏会、お笑いを実施。日頃の練習の成果を発表した。屋外ステージは、常磐大学吹奏楽団のオープニングセレモニーとバルーンリリースで開幕。人間科学部卒業生の奥山幸恵さんの司会のもと、マスコットキャラクターノミネート作品紹介や入賞者の発表、また、景品が当たるプチ抽選会や、コミュニティ振興学部卒業生の芳賀裕子さんによるウズベキスタン舞踊&トークショーなどが開催された。後半は雨が強くなりL棟に場所を移動することになったが、常磐大学のマスコットキャラクター投票結果の発表など、注目度の高いプログラムが進行。イベントを通して、常磐大学の関係者や地域の方々が連携を深めた。



▲ノミネートされた4作品の中から常磐大学のキャラクターが決定（右）。



▲オープニングを飾ったバルーンリリース。



▲マスコットキャラクター入賞者表彰式。



▲たくさんの品物がそろったフリーマーケット。



▲思い出の品々が展示された卒業生交流ブース。



▲熱戦を繰り広げた常磐大学高校バスケットボールチーム。



▲それぞれの願いを短冊に託した七夕飾り。

第12回アジア地域大学院コースー被害者学および被害者援助論ーを開講 ● 常磐大学国際被害者学研究所

第12回を迎えるアジア地域大学院コースが、7月30日から8月10日まで、世界被害者学会との共催により開催された。本年は、スーダン、タイ、パキスタンから初の参加者を迎え、インドネシア、インド、ネパール、韓国からの受講者もあわせ22名が海外から参集。日本人参加者4名も加わり、延べ26名が被害者学の理論から被害者支援の実務に関連する37の講義に耳を傾けた。講師陣は、常磐大学の教員を含め、世界被害者学会会長のマーク・グルーエンヒュイセン教授らが協力。また、学生ボランティアも講義の準備や学外講師への対応、海外からの受講生サポートなどに大きな力を発揮し、密度の濃い時間を共有した。

閉講式では、全講義に出席し、被害者支援プロジェクトの提案発表を行った18名に対して修了証書が授与された。「ここで得たものは、被害者学の最先端の知識のみならず、講師や受講生同士の大切なつながり。このネットワークを大切にして、自国の被害者支援に生かしていきたい」とのスーダンからの受講生の感想が広く共感を呼んだ。



▲ドゥーシッチ所長による、受講生参加型の講義の様子。



▲希望者が被災地復興ボランティアに参加。東松島市の海岸清掃や、東名駅周辺の草刈りに汗を流した。

●「国境を越えた組織犯罪の証人および被害者の保護」 国際ワークショップにマンディー教授が参加

6月10日から14日の日程でインドネシア・バリ島にて開催された同国政府主催のワークショップに、欧米やアジア、アフリカ諸国を含む30カ国から政府関係者らが参加し、広域的な被害者の保護について、活発に意見交換を行った。



●卒業生たちの体験談から就職意識を高める相談会を実施

● 人間科学部健康栄養学科 / 短期大学幼児教育保育学科

卒業生から仕事や就職活動に関する話を聞くことで、学生たちの就職意識を高める試みが常磐大学・常磐短期大学で開催された。

その一つが、6月21日に人間科学部健康栄養学科の4年生全員を対象に行われた国家試験及び就職に関する相談会。昨年卒業し管理栄養士として活躍する1期生4人を大学に招き、管理栄養士国家試験の勉強法や実際に行う仕事の内容などを話していただいた。相談会は4人の卒業生ごとにそれぞれ4つのグループに分かれ、学生たちが自由に質問を行う形式で実施。学生たちは意欲的に質問を繰り返していた。相談会に参加した根本哲紀さんは「先輩方の勉強法や職場の雰囲気など、生の声を聞くことができとても参考になりました。特に、私の第一志望である病院施設で働く先輩方の話を聞くことができ、自分も病院施設で働きたいという気持ちが高まりました」と成果を語っていた。

そしてもう一つが、6月28日に短期大学幼児教育保育学科が2年生を対象に行った就職ガイダンス。この就職支援活動は毎年行われているもので、幼稚園、保育園、施設で働く卒業生たちから就職活動や仕事内容などを聞くことで、学生たちの就職意識を高めている。今回は、幼稚園、保育園それぞれ2人、施設から1人の卒業生を招いて懇談会を実施。具体的な就職体験談や現場でのエピソード、後輩へのアドバイスなどが話され、学生たちは先輩方の話に熱心に耳を傾けていた。ガイダンスに参加した竹内文香さんは「就職活動は一人で行うものだと思っていましたが、先生やキャリア支援センターに相談するようアドバイスをいただき、とても参考になりました。これから、人とのつながりを大切にしながら、就職活動に励みたいと思います」と意気込みを語っていた。



▲意欲的に質問が飛び交った健康栄養学科の相談会。



▲先輩の話真剣に聞く幼児教育保育学科の学生たち。

Tokiwa Interview

第6回開学100周年記念講演会(2012年6月13日開催)より

現代理科教育の課題と展望

大高 泉氏

(筑波大学教授)

日本の子どもたちの理科離れが進んでいると言われて久しい。なぜ、このような現象が起きているのか。また、効果的な対策はあるのだろうか。筑波大学教授の大高泉先生にお話を伺った。

「現在行われている学力調査には、OECDのPISAや、IEAのTIMSS、また文部科学省が行う教育課程実施状況調査などがあり、これらの調査結果をまとめると理科学習に関して次のことが言えると思います。まず、国際的な学力比較では、まだ高い位置をキープしているが、調査の度に低下傾向にある。次に、理科学力や科学リテラシーの内容に不均衡が存在する。これは、日本の子どもたちは選択問題には強い反面、科学的に論述することや、現象を科学的に説明することは苦手だということです。そして最も深刻なのは、学力のベースになる態度や意識、あるいは価値観に多くの問題があることです。例えば、国際的に見ると、理科好きの子どもの割合が最低の水準に近いし、理科学習に対する態度も極めて消極的。理科の勉強を楽しいと思っていないし、希望の職業に就くために理科で良い成績を取ろうという動機もない。つまり、理科を学ぶことが、将来、役に立つとは思っていないということです」

それでは、海外の先進的な理科教育の取り組みは、どうなっているのだろう。

「欧米では、日本で行われている科学の内容や方法のみの教育から、科学を多面的にトータルに学ぶ方向へと変化しています。生徒たちは科学とは何か、何ができるのか、そして科学は文化にどう寄与するのかを理解していきます。目指しているのは、市民的な資質としての科学の教養。科学の専門家としての能力を育てるだけではなく、実社会で科学に関連した社会問題に対応できる能力を育てることです。カリキュラムの中身も、現実に起きている科学に関

世界から見た日本の理科教育の特質。

連した社会問題や、日常生活の問題を取り上げています。例えば、薬の安全性を確かめることの必要性や、食料の供給と第三世界の現状などを学ぶ。社会に出てから直面する科学に関連する課題を勉強するので、科学の学習が役に立たないとは思わないのです。また、原子力発電とエネルギーの問題なども取り上げています。原子力発電の仕組み、核エネルギー利用の危険性、政治的・経済的な関係、核兵器の開発、核エネルギーに代わるものなど、物理の内容だけではなく原子力発電所の問題に市民として議論できるだけの知識が身に付くカリキュラムです。また、将来科学者や技術者を目指す生徒のための職業案内として、キャリア教育にも力を入れています。専門家を目指さない生徒も科学者や技術者を理解することで、生涯にわたって科学に関心を持ち、科学を学び続ける基盤が育まれます。最後に日本の子どもたちが苦手とする科学的論述に関してですが、イギリスでは全教科を通して言語を大切にしている取り組みを行っています。理科学習では書くことに関するレベルが細かく設定されており、レベルが上がるに従って、科学的な分析や解釈など、より高度なものになっていく。書くことによって論述力が向上すると同時に、科学的思考も鍛えられます。こうした取り組みに、日本の子どもたちの理科学力の問題を克服するためのヒントがあるのかも知れません」

日本の理科教育には、今、実社会につながる建設的なカリキュラムの再構築が求められている。



おおたか いずみ ● 1952年茨城県城里町生まれ。1981年筑波大学大学院博士課程単位取得退学、筑波大学助手、高知大学講師・助教授、筑波大学助教授を経て、1997年筑波大学教授、博士(教育学)。博士課程教育学研究科長、筑波大学教育学系長、筑波大学執行役員、また、文部科学省中央教育審議会・理科部会主査などを歴任。

●「就職試験筆記対策講座」の改編と「職種研究」講座の開設

キャリア支援センターでは、さまざまな就職支援プログラムを開設している。2012年度の新たな取り組みは、「就職試験筆記対策講座」の改編と「職種研究」の講座の開設である。

就職試験筆記対策講座はSPIやGABなどの企業試験対策として、2011年度よりスタートした。初年度は基礎講座と位置付け、高等学校の振り返りを含む、英語、言語理解、数的処理、政治経済、地理歴史など、年間を通し90分112コマで開講。2012年度は、前年度の内容を踏襲し、自学自習の機会を増やすとともに講義時間を短縮し、内容を濃くしたベーシッククラス（低学年向け90分78コマ）と、さらに向上を目指す学生のために演習形式を用いたアドバンスクラス（高学年向け90分34コマ）を設定した。就職試験の第一次審査にほとんどの企業が筆記試験を取り入れ第一関門となるので、筆記試験対策は重要なポイント。入学してからの地道な取り組みが非常に大事となるため、多くの学生の参加を期待している。

職種研究の講座は従来の就職支援プログラムの一部に広がりを加え、さらに掘り下げることにより、職種の詳細について理解を深めてもらうことを目的に秋 semester に開設する。各スケジュールの詳細はキャリア支援センターまで。

職種研究講座内容	
第1回	就職する事業体（企業等）の組織原理のもとで働く
第2回	事務職として働く
第3回	販売職として働く
第4回	法人営業職として働く
第5回	個人営業職として働く

内定者レポート



諦めないで
頑張ることを
教えられました。

小井戸 美咲
常磐大学人間科学部心理学科4年

●常陽銀行株式会社 内定

女性が働く環境が整っている金融業界で働きたいと考えていました。キャリア支援センターで開催された「金融業界対策講座」、さらに週1回の勉強会に参加し、業界・職種の理解を深め、就職活動に臨みました。しかし、最初に受けた銀行の面接に失敗して自信を失ってしまいました。とても悩んでキャリア支援センターに相談に行くと、結果が出るまで諦めてはいけないとアドバイスをいただき、金融業界に挑戦し続けるモチベーションを取り戻すことができました。内定をいただいた常陽銀行の1次募集に応募しそびれて落ち込んでいるとき、2次募集を紹介してくれたのもキャリア支援センターです。キャリア支援センターは、私の就職活動状況を把握してくださっていて本当に頼りになる存在でした。入行後は、窓口として銀行の顔になれるような行員を目指して頑張りたいと思います。



早い時期から
就職情報を
収集しましょう。

勝部 弘基
常磐短期大学キャリア教養学科2年

●イオンリテール株式会社 内定

早く社会に出たいと考えていたので、入学して間もなく始まる短大生の就職活動は、自分にとってはありがたかったです。イオンリテールを第一志望としたのは、人と関わることが好きで、販売を通して感動を届けたいと思ったから。それから、イオングループの地域や社会に対する貢献に共感したことも理由の一つです。大手流通グループの中核企業ならではの恵まれた環境を活かし、さまざまな部門を経験した後、将来は人事部門で人材開発に取り組みたいと考えています。キャリア支援センターには1年生の頃から就職情報を調べるために通っていました。実際に活動が始まると、履歴書の添削や面接対策などでお世話になり、とても感謝しています。皆さんも、就職に関する情報が多く集まるキャリア支援センターを上手に活用してください。

常磐大学・常磐短期大学

News!

2012年度常磐大学・常磐短期大学保護者会を実施

6月9日、常磐大学後援会総会がH棟で、常磐短期大学父母の会総会がT棟で、それぞれ同時並行で開催された。総会では、それぞれ会長挨拶、副学長挨拶に続き会務の報告を実施。その後、就職・進路指導、教務、学生生活に関する説明・連絡などが行われた。また、両総会とも閉会后に学生発表が行われ、大学では①コミュニティ振興学部・水戸市文化財被災マップ作成プロジェクトチームが「東日本大震災で被災した弘道館・好文亭の被災状況写真集の発行について」、②中村正之ゼミナールが触覚型写真研究による「さわれる喜怒哀楽展～心の叫びと顔の表情展～」開催について、③横須賀徹ゼミナールが「埼玉県政策コンペおよび神奈川県公共政策フォーラムにおける政策提言について」、それぞれの研究成果を発表。短期大学ではキャリア教養学科2年の伊藤緑さんと増田美緒さんが「私らしい大学生活



▲大学での研究成果を発表する学生。



▲短大では充実した学生生活を報告。



▲就職をテーマに行われた講演会。
◀講師を務めた鈴木孝典氏。

のために」をテーマに、「東日本大震災復興支援ボランティアに参加して」と「国際文化研修に参加して」と題した発表を行い、充実した学生生活を報告した。

学生発表後には、水戸公共職業安定所ハローワーク水戸・学卒就職ジョブサポーターの鈴木孝典氏を講師として招き、「最近の就職事情」をテーマに講演会を開催。就職環境の変化や地元企業の求める人材など、学生たちが直面する就職活動の現状を解説していただいた。聴講した保護者の方々は、実態に沿った鈴木氏のアドバイスに、熱心に耳を傾けていた。

常磐大学 高等学校

News!

英語スピーチコンテスト 茨城県で知事賞を受賞！

6月8日に行われた、平成24年度第50回茨城県高等学校国際教育英語スピーチコンテストで、檜山春菜さん（3年）が最上位の「茨城県知事賞」を受賞した。

檜山さんは1年次に常磐大学高等学校主催のカナダ短期語学留学に参加し、2年次では同じスピーチコンテストで茨城県国際教育研究協議会長賞を受賞するなど、熱心に英語学習に取り組み、着々と力を付けてきて今回の受賞となった。さらに茨城県代表として7月10日に行われた関東甲信越静地区英語弁論大会に出場し、第3位に入賞した。以下、檜山さんが発表したスピーチの冒頭部分である。



◀檜山春菜さん。



“A World Hand in Hand”

Do you know Ms. Taylor Anderson? Today, I'd like to share how her story has influenced me. A week after March 11th, 2011, my mom gave me a newspaper article. It wasn't front-page news, but she felt it was important for me to read it. It said that an American ALT, named Taylor Anderson, disappeared in the tsunami and was later confirmed to be deceased. She devoted herself to letting her students go back home safely. By the grace of her, all her students were safe. But on her way home, she was caught in the strong and awful tsunami. After I finished reading it, I couldn't stop crying. My mom was also crying. She must have been very scared, I thought. I was extremely impressed. What a touching story! Then, I asked myself, "Can I devote myself to others? Will I be able to make myself understood, across language and cultural barriers, like she did?" (以下省略)

智学館中等教育学校

News!

夢のように過ぎたアメリカでの1週間 ～海外研修旅行について～

午前8時を回ると、ホームステイを終えた生徒を乗せた車が次々と集合場所に戻ってきた。そして次の訪問地ニューヨークへ向けて出発するまでのつかの間、生徒たちはホストファミリーとの別れを惜しんだ。涙を流しながら抱きあう姿もある。わずか2日間とはいえ、どれほど充実した時間を過ごしたかをうかがわせる瞬間であった。

4年次生73名が参加した海外研修旅行は、7月5日（木）から6泊8日の日程で行われた。最初の訪問地ワシントンDCは40度近い猛暑となったが、ホワイトハウスやリンカーン記念堂など、アメリカの政治や歴史に直に触れる生徒たちの目は皆輝いていた。週末は、ボストン郊外でのホームステイ。今回の研修旅行のハイライトである。サイクリングをしたり、裏庭でバーベキューをしたり、一生懸命英語を使って思い思いに楽しい時間を過ごした。別れの朝の様子は冒頭に述べた通りである。自由の女神像、ロックフェラーセンター、タイムズスクエア、セントラルパーク、ミュージカルなど、ニューヨーク滞在中も朝から晩まで感動の連続であった。

復路便の離陸後間もなく、機長から「修学旅行中のみなさん、社会に出て辛いことがあった時に心の支えとなる学生時代の友だちを、ぜひ大切にしてください」と智学館の生徒に向けた素敵なアナウンスが流れると、機内の雰囲気は一気に和んだ。旅の最後に訪れた大きなサプライズを胸に、生徒たちは夢のような1週間で思い返しながら成田へと向かった。

智学館中等教育学校 教諭 橋本 伸弘



▲ホストファミリーとともに。



▲ロックフェラーセンター。



▲大リーグ観戦。

常磐大学幼稚園

News!

みんなで初めてのお泊まり（年長組宿泊保育）

7月31日～8月1日、園において年長組宿泊保育（1泊2日）を実施した。真夏の一日。大きな荷物を片手に、午後から登園した子どもたち。竹中園長や教職員に見守られながら、「はじめの会」に臨んだ。45名を8グループに分け、共同生活のスタート。初めに「夏に関わる名前を付けよう」をテーマに、「あさがお」、「うみ」などのグループ名を決めた。お楽しみ第1弾は「ことばさがし」。6個の問題から答えのキーワードをつなげ、一つの単語を探し合う。答えは「アイスクリーム」。最後に店員さんに扮した職員にアイスクリームをもらい、みんなで味わった。第2弾はプール遊び。水しぶきに歓声があがり、水の冷たさが本当に心地よさそうだった。夕食



▲優しい炎の光に包まれたキャンプファイヤー。



▲遊戯室でみんな一緒に就寝。

のカレーをランチルームでおいしくいただいた後は、第3弾のキャンプファイヤー。月光の中、炎に赤々と照らされ、みんなでここに参加していることに感謝し合うことができた。2日目は大学の先生と一緒にいったジャガイモ掘りや、みんなで育てている稲の観察などをした。成長した稲の観察画を描きながら、秋の収穫に思いをはせた。「自分の事は自分でする」「みんなで協力する」ことなどを目的とした宿泊保育の濃密な経験は、子どもたち一人ひとりに確実な成長をもたらした。

寄付者ご芳名 (敬称略) [2012年4月～6月受付分]
ご厚情に深く感謝し、以下のとおりご報告いたします。

■教育実践研究所の行う事業支援

個人	
460,000円	諸澤 篤子 *
累計寄付金額 460,000円	

■諸澤幸雄奨学金の創設・充実

個人		
380,000円	10,000円	
竹中 治利 *	近藤 佳世 *	
210,000円	江原 徳子 *	
中村 和彦 *	6,000円	
150,000円	長谷川 直子 *	
保坂 泰夫 *	5,000円	
60,000円	三宅 慎也	
大槻 行徳 *	長塚 あいり	
関 敦央 *	4,000円	
50,000円	荒井 功	
寺岡 幹真	3,000円	
國見 太	持丸 純子	
29,000円	奈良 宜幸	
久松 雄大 *	芳名のみ公表	
24,000円	堀口 秀嗣 *	
坂井 知志 *	石田 喜美 *	
20,000円	千葉 茂 *	
大森 和枝 *	工藤 典人 *	
小林 理子 *	関 いづみ *	
10,000円	矢口 羊一	
古田土 秀子	吉尾 千世子	
江畑 桂子	大竹 美代子	
中川 伸子		
累計寄付金額 71,913,026円		

■寄付講座への支援

1,000,000円	常陽銀行
累計寄付金額 5,000,000円	

■社会福祉士を目指す学生への支援

1,600,000円	一般財団法人 安寿苑
------------	------------

◎複数回お申し込みくださいました方は芳名に*を付し、金額は累計額を表示いたしました。

【寄付金の申し込みおよび問い合わせ】

学校法人常磐大学 修学支援課

TEL. 029-232-2759 E-mail : kifu@tokiwa.ac.jp

※寄付募集の詳細については、ホームページでご覧いただけます。

編集後記

連日の猛暑に見舞われた今年の夏。その暑さにも負けず、ALL TOKIWA DAY 2012 セタフェスティバルと、水戸ホーリーホックコラボデーが開催されました。震災から1年半。まだ復興も道半ばですが、今後も地域の連携を深めるさまざまな活動を、私たちが中心となって行っていこうと考えています。

information

お知らせ

2012年度「ときわ祭」開催

学生たちが日頃の学習活動やサークル活動の成果を、楽しく発表する2012年度「ときわ祭」が今年も開催されます！内容は屋外のメインステージで行われる参加型イベントや、模擬店、研究発表など盛りだくさん。大好評のお笑いライブや講演会なども見逃せません。日頃からお世話になっている地域の皆様や、常磐大学関係者への感謝を込めてお届けする学生たちの一大イベントに、ぜひ足を運んでみてください！

◎開催日時

10月27日(土)、28日(日)
AM10:00～PM4:00

◎講演会(入場無料)

講師/名越 康文氏(精神科医)
プロフィール/ソフトな語り口と親しみやすいキャラクターで、ラジオのDJで人気を評し、以降多メディアで活躍。

◎お笑いライブ(入場無料)

出演/はんにや、あべこうじ、エリートヤンキー、御茶ノ水男子、囲碁将棋
(出演者は変更する場合があります)
現在、お笑い会で大活躍する若手芸人が多数出演。当日は混雑が予想されますので、早めに整理券を手に入れて、ときわ祭を楽しんでください。

■2011年度に開催された「ときわ祭」の様子

